

高次脳機能障害

主な特性

高次脳機能障害とは、脳血管疾患や交通事故による頭部のけがなどにより脳が損傷を受けたために起こる障害です。損傷した脳の部位により、さまざまな障害が起こります。

生活する上で必要な情報処理を円滑に行うことができなくなったり、感情コントロールができず、対人関係がうまくいかなかったりします。

具体的には、うまくしゃべれなくなる、道具がうまく使えなくなる、集中力が続かなくなる、記憶力が悪くなる、効率的に行動したり計画を立てて行動したりできなくなるなどです。

そのため日常生活や社会生活に多くの困難があり、本人も大きなストレスを持ちますが、外見からは分かりにくく、周囲の理解が得られにくいという特性があります。

必要な配慮

- 「今までと様子が変わってしまった。」というような言動が生じる場合もあります。障害を理解し、温かく接して下さい。

- 社会活動の継続が有効なりハビリになります。まわりの人の理解と支援が必要です。
- ゆっくり、分かりやすく、具体的に話しましょう。言葉で伝えるほかメモをして渡しましょう。
- 疲労やイライラする様子が見られたら気分転換を促すようにしましょう。
- 「手順を簡単にする」「日課をシンプルにする」「手がかかりを増やす」など、環境を調整することが大切です。

